

***-NEWS RELEASE-***

2019年12月16日

プランティオ株式会社

**AIプランターを開発するスタートアップのプランティオが、**

**経済産業省のスタートアップ支援プログラム採択企業として**

**世界最大級テクノロジー・カンファレンス『CES 2020』出展**

**『グローバルコミュニティシステム』のプロトタイプを展示**

**グローバル展開準備の第一弾として**

**『グローバルコミュニティシステム』のプロトタイプを展示**



　AIのサポートにより、コミュニティ野菜栽培のエンタメ化を実現する、IoTを搭載したコネクティッドプランター『PLANTIO HOME』を開発するスタートアップ、プランティオ株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役 共同創業者 CEO：芹澤 孝悦、以下 プランティオ）が、世界最大のテクノロジーカンファレンス「CES2020」に、経産省の支援プログラム「J-Startup」採択企業として出展。

　グローバル展開の第一歩として、大幅にモデルチェンジしたコネクティッドプランターの『PLANTIO HOME』の初披露・展示および、開発中の『グローバルコミュニティシステム(仮称)』のプロトタイプを展示します。

▶ 「グローバルコミュニティシステム（仮称）」 とは

　プランティオは、独自開発したセンサーを搭載したプランターとAIのサポートによりアプリケーションを導入することで、都市民による野菜栽培が地球環境へ及ぼす影響をリアルタイムで表示、可視化するシステムを開発しています。

　でき

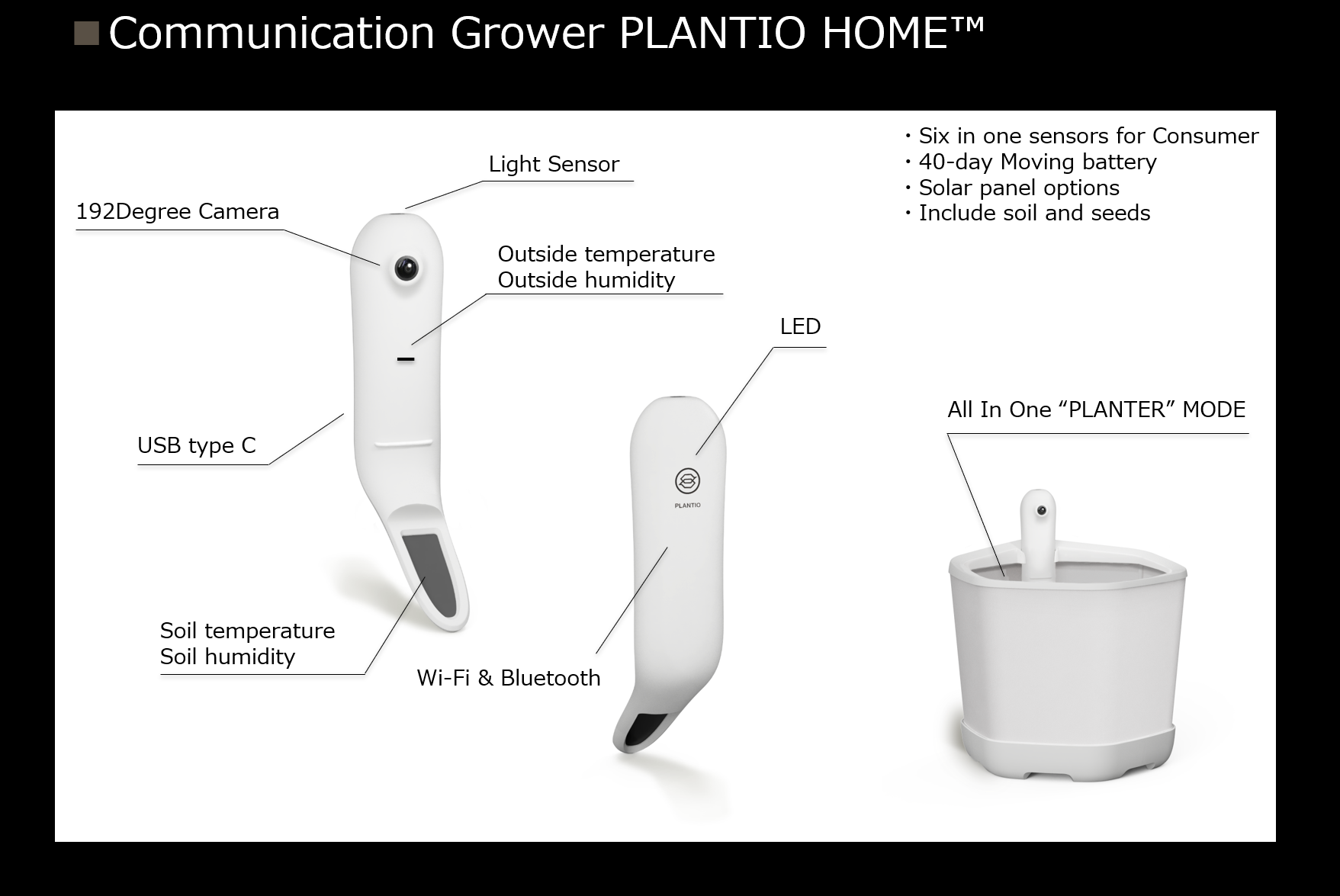


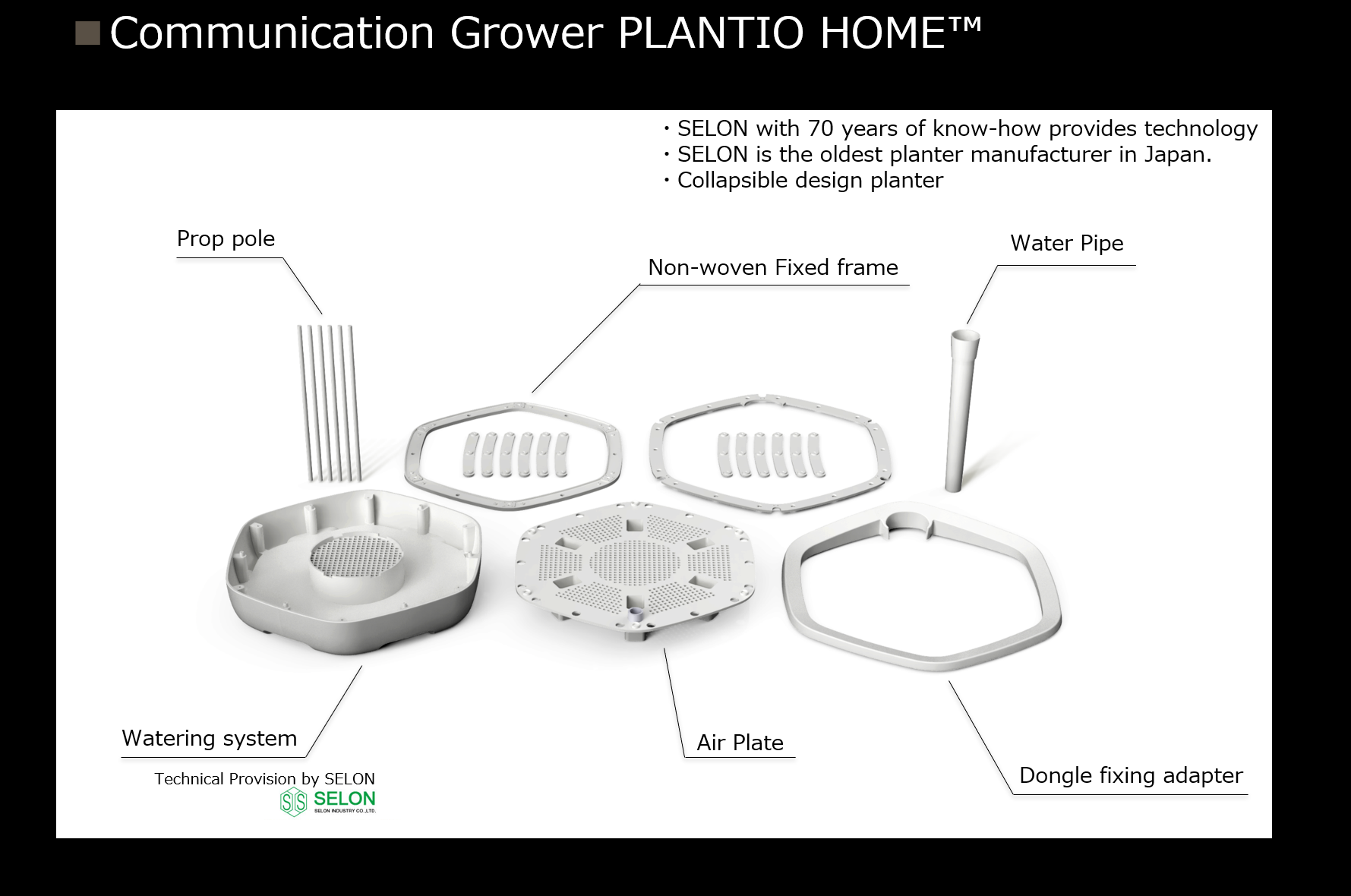
地図, テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明

本展では、グローバルコミュニティシステムのプロトタイプ展示に加え、大幅にモデルチェンジしたコネクティッドプランターの『PLANTIO HOME』の初披露・展示も行います。







製品開発と

　、食料自給率の低下や、・とを劣悪な環境で飼育される「食」に関する存在特におは、“

　ら運ぶのではなく。そんなが増加中

　古来から農耕民族として生きてきた、江戸時代までは人口の約8割が農耕に携わっていた日本人だからこそ、自分で食べる野菜は、自分で育てるというカルチャーを育むべく、都市部でも楽しく栽培を可能にするサービスを提供することを目指しています。

▶ J-Startup とは

　世界で戦い、勝てるスタートアップを生み出し、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を提供する。このコンセプトを掲げ、経済産業省が推進するスタートアップ企業の育成支援プログラム。CES2020では注目を集めるエリア“Eureka Park”で日本発スタートアップのグローバルスケールをサポートしている。

オフィシャルサイト 　<https://www.j-startup.go.jp/>

▶ CESとは

　1967年から続くCESは世界最大級のテックトレードショーで、2020年1月7日（火）～10（金）に米国・ラスベガスで開催される。CES2019は参加者数175,000人、4,500企業、1,200スタートアップが出展。20,000以上の新製品が登場した。かつては家電製品主体の展示だったが、2015年に主催団体の名称が米国家電協会から全米民生技術協会（CTA：Consumer Technology Association）に変更された。家電だけではなく自動運転、スタートアップ、スポーツなども参入し現在ではイノベーションのハブとして位置づけられている。

オフィシャルサイト　<https://www.ces.tech/>

J-Startupによるプレスリリース

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/iib/2019/CES/CES2020PP.pdf>

▶ プランティオ株式会社会社概要

会社名：プランティオ株式会社

事業所所在地：東京都渋谷区神泉町１１－７

設立：2015年6月16日

資本金：1億3470万円

代表者：芹澤 孝悦（せりざわ たかよし）

事業内容：みんなでたのしく野菜を育てるカルチャーを創るため、都市部に於けるコミュニティファーム『SUSTINA PARK』の事業と、ご家庭でもたのしめるIoTハードウェア『PLANTIO HOME』を開発しているスタートアップです。

URL：[www.plantio.co.jp/](http://www.plantio.co.jp/)

【報道関係者さまお問合せ先】

＜プランティオ株式会社・本リリースに関するお問い合わせ先＞

プランティオ株式会社：島田、田中

MAIL：info@plantio.com